京城日報

ケ月定價一圓三十錢　地方郵送料共前金一圓六十錢（一部定價六錢）
京城府中區太平通一丁目三一
發行所　合資會社京城日報社
編輯兼發行人　高宮太平
印刷人　仲野慶造
行政餘白

皇軍・長沙南方へ迂回進出

淥口驛に肉薄

長沙の重慶軍全く孤立

【リスボン十八日發同盟】重慶からのＵＰ電報は湖南戦線の戦況について十七日次の通り報じてゐる

長沙東方で迂回進撃した日本軍は目下粤漢線と湘桂線の接合點たる要衝衡陽から僅かの地點にある淥口驛を脅威してゐる重慶軍司令官薛岳は淥口の北方六哩まで戦線移行中と報じてゐる、長沙は未だ重慶軍の手中にあるが、同市からの退路が殆ど斷たれて日本軍に遮斷されてゐるので同市守備の重慶軍の地位が絶望的なことは全く明瞭である

寧鄉縣城に突入

瀏陽郊外でも激戦

【廣東十八日同盟】重慶來電によれば長沙を中心とする十七日の戦況は依然熾烈に継續されてゐるが殊に瀏陽郊外では彼我の間に物凄い激闘が展開されてゐる、一方益陽方面から南下した日本軍は十七日未明寧鄉縣城の東門および北門に突入、目下壮烈な巿街戦が展開されてゐる

吹飛ぶ敵砲兵陣

斷末魔の長沙を痛爆

【大陸前線基地にて木村報道員十八日同盟】斷末魔の長沙に大空から止めをさすべくわが航空部隊は十七日陸鷲編隊の大編隊をもつて長沙西方の岳麓山敵砲兵陣地に痛烈なる爆撃を加へた、この日早朝基地を進發したわが爆撃隊は長沙へ長沙へと編隊を組んで行く……

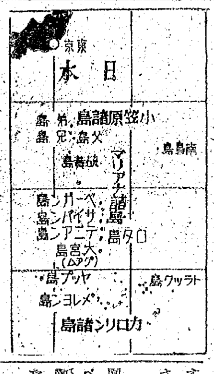
長沙市街が眼下に見える、その山頂では今しも長沙の陥落を急へて踊つて來る友軍の猛襲に應へ……

逞絶の激戦續く

マリアナ諸島海域

敵機動部隊、執拗に行動

【東京電話】十八日ミツツ發下院と時を同じうして十六日大本營發表以來同方面海域は依然空前の激闘を展開しつつあり、敵機動部隊のマリアナ諸島來襲は……



硫黄島に百機

邀撃、忽ち十一機撃墜

【中部太平洋基地十八日同盟】十五日に引續き十六日にも午後一時から三時にわたつて敵機動部隊は艦載機延百機をもつて小笠原諸島硫黄島に來襲したがわが所在部隊はこれを邀撃、敵機の中、十一機を撃墜した、わが方の損害は軽微であつた

築く敵屍の山

コヒマ本道上で激戦

【印度前線基地長谷川特派員十六日發】死力をつくして脱出に狂奔する敵をめざしてコヒマ本道上の戦闘は……

總督、咸南北視察を終る

小磯總督は十三日……

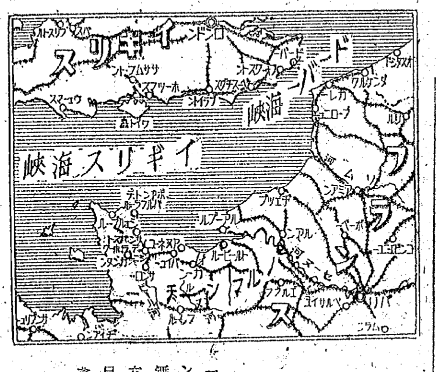
英の狼狽尻目に

獨無人機連續猛爆

戰局に決定的影響か

【ストツクホルム十七日同盟】ロンドン來電＝ドイツ空軍の新兵器無人飛行機による英本土攻撃は十六日夜に至るも依然續行され十七日の朝に至るまで廣範な地域にわたり攻撃が加へられた

十七日の午前中は一時杜絶えたかに見えたが午後に至るや再び無氣味な爆音とともに英本土に……



獨新兵器攻撃を強化せん

【ベルリン十七日同盟】獨新兵器による英本土攻撃開始につき獨側は十七日次の見解を披瀝した

被害は甚大

英本土南岸一帶

【ベルリン十七日同盟】ドーバー海峡に臨むルーアンからの報道によれば、獨軍新兵器の攻撃を受けた英本土東南部一帶の被害は……

無人飛行機の基地は何處だ

笑止、英の盲爆

獨生産力上昇

敵爆撃も無効

北佛戰線

敵、艦砲圏外へ進出

獨軍各方面で大反撃

獨、戰車戰に優勢

反樞軸軍更に増強

敵、卅ケ師揚陸

殘餘の五、六十ケ師で新作戰か

赤軍の壓迫續く

カレリヤ地峡激戰

赤軍十ケ師を使用

ヘルシンキ市民に疎開命令

三百一機撃墜

獨高射砲隊の戰果

一萬五千八百

上陸米軍の損害

敵戰車卅七台擊破

サン・ソーブール撤收

戰車二百五十を撃破

英公使引揚は斷交に非ず

米國務省發表

ルーズ・ソ聯に屈す

BBCの放送中止

伊中部の敵軍進出

アイスランド獨立を宣言

【ストツクホルム十七日同盟】ライキヤビク來電＝アイスランド議會は十七日アイスランドがデンマークとの關係を斷ち獨立國として誕生する旨宣言した

社説

笑ひと親切を取戻せ

とかく戦後の國民生活から笑ひと親切が失せ勝ちである。……

遊戰錄

東條首相は
國民總蹶起運動
中央總會で
斷乎として言ひ放つた
「天下の人心一なれば
千萬の敵といへども
恐るゝに足らず」
今や必勝の道は
前線に對應する
國民總蹶起あるのみ。
パピリオクレーム

胃腸　プロッ　漢方胃散
朝鮮人蔘
代理店　朝鮮通運藥品株式會社

鼻の病　ミナト式
「鼻の病は慢性にならぬ中に一日も早くミナト式で御治療下さい」
説明書進呈
湊製藥京城營業所

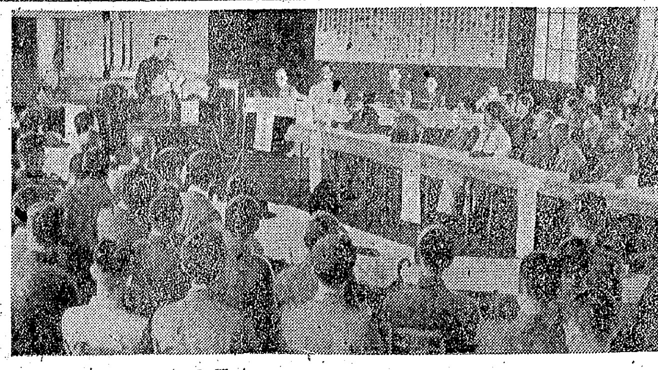
オソ
切り傷　かぶれ　ひふ病　毒虫
オソは色々役に立つ
オソ本舗

在鮮文學者總蹶起大會

筆を劍となさん

誓ふ敵愾心の昂揚

全半島の文學者が蹶りよる熱と力を結集して皇國米英打倒の氣勢を一段と固める爲め朝鮮文人報國會では東京九段軍人會館で開催の決[illegible]國朝鮮文學者總蹶起大會に呼應して十八日午後一時廿分から京城府民館中講堂にて〝在鮮文學者總蹶起大會〟の發壯な幕を切った



定刻田中政務總監(代理阿部情報課長)朝鮮軍報道部長(代理川崎大佐)海軍武官府松本大佐等に滿洲國より馳せ參じた滿洲文藝家協會古丁氏を初め文學者百餘名が決戰に相應しい緊張した姿で會場をぎつしり埋めた、大會は先づ國民儀禮の後大詔を奉讀、矢鍋會長の挨拶、來賓の祝辭に入り田中政務總監から「今や米英殲滅の戰は正に酣であり、一億國民はその持場の如何にかゝはらず總てが雄々しき鬪魂を以てその職域に挺身する秋である、文學者も亦このすべてを以て戰ひ拔かねばならない斯くして勝ちぬいた時にこそ眞に輝かしき皇道文學の精華が確立するものと信ずる」と別項の激勵を與へて第一部を終了、引續いて第二部の議事に入り香山光郎氏を議長に[illegible]決議文發表ついで辛島委員長から「大東亞戰爭は今や決戰の段階に突入せり、敵米英はひたすら物量を恃み熾烈なる反攻を續けつゝあり、一昨日は敵機は不遜にも我本土を來り侵す、われらは必ずこれを擊碎すと雖も非常の秋、愈々深きを覺ゆ、この皇國の重大時局に際會し吾等半島の文人は茲に總力を結集し師州不拔の信念に依り決戰下の皇道文學を確立し筆を劍となし敵の謀略を擊摧し國民の敵愾心を昂揚すべくこゝに堅き決意を表明し以て聖恩に應へ奉らんことを誓ふ」と力強い宣誓文を中外に發表、海ゆかば齊唱、聖壽萬歲を奉唱、一同は文學報國の決意を五體にみなぎらせながら五時十分盛會裡に閉會した【寫眞＝在鮮文學者總蹶起大會】

たゞ滅敵の一途

田中總監激勵

田中總監

文學者總蹶起大會における田中政務總監激勵の要旨は左の通り

惟ふに今日の如く國民活動の一切を擧げて戰力化し、ひたすら聖戰完遂に邁進せねばならぬ時に當り凡ゆる文學活動も滅敵の一途に集中すべきである、文學者中の一部には從來の環境上ともすれば米英的な殘滓を一掃することが出來ないことは誠に遺憾に思ってゐた處で、今や米英殲滅の戰は正に酣であり、一億國民はその持場の如何にかゝはらず總て雄々しき鬪魂を以て其の職域に挺身奉公しなければならぬ秋である、文學者も亦その總力を以て戰ひ拔かねばならない、斯くして勝ちぬいた時にこそ眞に輝かしき皇道文學の精華が燦然と輝き渡る事を固く信ずるものである

半島の狀態を觀るに文學界の人々が文學報國の赤誠をもって聖業の達成に邁進してをる狀態は寔に頼もしく感ずる、諸君は各種錬成の諸行事には率先參加して自己の修養に勵み、常に國民皆兵の昂揚に努力し徴兵制の實施に際してはその趣旨徹底のために奮闘し、或は國語生活運動の陣頭に活躍する等半島文壇の決戰態勢は逐日强化されつゝあるを認めて非常なる滿足を覺ゆる、然れども戰局の前途は依然樂觀を許さざるのみか今こそ一億國民鐵石の團結を固め如何なる困難辛苦をも甘受して止まぬの固き決意を持たねばならぬから 文學者諸君にあつてはあくまでも今日の此の意義ある大會の精神に徹したゞ滅敵の一途に突進し本大會の目的完遂に邁進せられんことを切望して止まない

朝鮮と滿洲は鐵の一環

古丁滿洲代表談

本日京城においてかくて文學者總蹶起大會が開催されたことは、戰ふ文學の本質を發揮するものとして誠に慶賀にたへない、今更いふまでもなく文學は國民精神文化の基盤をなすものであって、その力強い展開によって戰力增强に寄與するところ甚大である、大東亞文學の確立のためには朝鮮と滿洲は相共に鐵の一環として協力奮鬪すべきであることを痛感する次第だ【寫眞＝古丁滿洲國代表】

吹飛ぶ敵の〝デマ〟

黒煙も高らかな工場街

【福岡電話】例によって敵側の飛ばすデマ宣傳は北九州の効果についてでかでかと發表、製鐵所を中心とする北九州重工業地區には彼等言ふ莫大な損害など勝手な熱を上げてゐるが北九州地區の空襲被害が工場を外れて學校や民間に集中された事實と照合せて北九州官廳の市民は敵側デマの眞實を身を以て知ることが出來た、敵側の空襲從軍記者の一人が製鐵所は全滅した等だといふ報道に至っては噴飯に堪へない虚構記事である、高性能を宣傳されたB29が何故北九州を衝きながら工場地區に投彈しなかつたか、被害地區の市民達は不思議に思ってゐる、彼らに大穴をあけた盲爆は物笑ひの種となってゐる、記者はこの夜身を以て空襲を體驗し、爆彈炸裂する瞬間も町を驅廻つてこの身ではつきり敵の盲爆振を見極めたが、その被彈地帶ではわざく工場地帶を避けて投下された爆彈の大穴を到る所で見せつけられた、全滅された筈の製鐵所は從前通り煙突からも平爐の煙突からも平常と變らぬ煙を吐いてゐる

○○八幡製鐵工場の外れで被彈一ケ所、輕傷者二名全工場の作業に全然影響なく、日鐵被彈だにせずといふこの眞實を敵は何とみるであらうか、更に近くにも製鐵所周邊の疎開地區にも一彈も命中せず、どう狙ったものか遙か丘陵上の民間地區にて爆彈の全部の三分の二を投下、更に他の異なる製鋼所、病院○○診療所の建物を工場と誤認してかなりの爆彈をこゝに集中した、世界に誇る溶鑛爐をはじめ煙突が林立し、遙かに見渡す限りひろびろと展がる巨大な製鐵所構内に何故投彈しなかつたのか、このため八幡工場は全部が全部爆彈から外れて朗かに作業を續けてゐる

わが陸海部隊の地上砲火と邀へ擊つ僚機戰鬪機に捕捉されて撃墜されたB29の醜姿は、記者の眼にまた市民の眼にはつきり燒き付いてゐる、しかも工員達は平常通り出勤、製鐵所やその他の工場は平常よりも出勤率の上昇を示して生産增加はがつちりと守り拔かれてゐるのである、工員達の鬪意はぐつと昂まって來たことをどの工場でも聞いてゐる、北九州では敵のデマ宣傳を吹飛ばして驀然たる增産の息吹を敵の空にぶちまけてゐるのである

自慢のB29も錐揉

豪語も空し・擊墜目擊者談

【福岡電話】福岡縣高須で擊墜した敵機が「超空の要塞」といはれるB29であったことが確認され、同機の末路を見届けた飯尾軍曹はん(?)は次のやうに語った

あれが私達の空に現れた時にはすでに傷ついてゐたやうです、我地上制空陣の彈丸を機體の何處かに受けてゐたのでせう、それでも同じコースを低空で旋回しながら盲彈を落す姿は全く小憎らしい位だった、しかし猛烈なわが砲火に怯えたのか間もなく北部方面へ遁れようと盛んに焦り出した、わが照空燈の光芒はこれを捉へて放さなかつた、同時に猛攻を浴せる防空砲火に敵は遂に致命傷を受けたらしく頭部を急に錐揉をはじめた、と次の瞬間きりくと續けて一回三回錐揉して墜落、小さな峠に叩きつけられ突如大きな音と共に同機に搭載されてゐた爆彈が炸裂して紅蓮の焔を吐きつゝ敵末期の最後を遂げた、私達は思はず萬歲々々と快哉を叫んだものです

重慶に東京空襲飛行場

大きいだけ

【リスボン十七日同盟】米航空部隊がわが北九州を爆擊するためには重慶地區において探くべき大掛りな準備を進めてゐた模樣で、支那前線にあるロイター通信特派員バローは十六日米國軍の對日空襲準備につき次の通り報道してゐる

〝東京空襲〟を行ひ得る飛行場に五十萬の重慶勞働者が動員されて十二時間交替で三ケ月以上の日子を費した日本空襲に當った飛行機は米國陸軍第廿航空部隊に屬するが、新空軍司令官ケネス・ウオルフは重慶陸軍に重慶地區に入り込んだ、飛行場の建設は今次大戰における偉大な土木工事の一つたるべく、更に支那において萬里の長城以來の大土木工事といふべきだらう、飛行場建設には殆ど近代的な設備は用ひられず專ら人力によつたが、それでもなほかつ六十萬元の日數を要し、數百萬立方メートルの砂礫が苦力によつて運ばれた

折尾北方にB29の殘骸

【東京電話】北九州來襲敵機のうち擊墜七機につき陸海軍發表

日本人は沈着

伊駐華代理公使感服

【上海十八日同盟】駐日イタリヤ大使館當局と今後のイタリヤの對華外交方針につき協議中であった新任イタリヤ駐華代理公使ピー・スピネリー氏は十七日空路歸滬したが、同氏は歸滬直前に滞在中、十六日敵米空軍の空襲を受けたが『日本人の沈着な態度には全く感服しました』と前置して次のやうに語った

空襲警報が發令された後直ちに空襲知らず知らずの中に敵國の空襲の來襲を受けて、大阪、中國地區を通過した日本空軍の都合は四月(?)に國都に侵入した飛行機はB29であることが確認された、しかも同機の高度は非常に高く、速度、上昇力なども優れたもので、是等の重爆擊機は四月に秘密の空軍基地により誘導されたもので[illegible]

防衞通信〝未だし〟

電話に今一層の協力

〝物量を恃む敵の總反攻が始まり、死にもの狂ひの神經戰を挑む空襲をわが朝鮮も十六日未明初めて味はつたのであらうことを思ふときわれ等が防衞通信の整備にいま一層の努力をかせねばならない、一聯を争ふ防衞、警備に必要な通話が一般の協力なきために阻害されたらそれこそ一大事である、電話は兵器だといひながら、ゆがめられた兵器に使用してゐるものがまだ多い

十六日未明の一幕に照らしても警戒警報發令後の短時間が一番通話が輻輳する時で一般の通話が京城府内だけで九割も增加し、そのことごとくがさしたる重要通話とも思はれない、いはゞどうでもよい通話であったのだ

これが重要通話が一般の殺到に壓迫されるので、今後非常事態發生の場合は重要通話の疎通をはかるため防衞、警備に必要な通話、軍、官廳、生産職力に必要な通話の外特殊の私用通話を除いた一般の通話を制限し、或は取扱を休止するかもしれぬ、これを守らないときは通話を停止する、しかし遞信局では國土防衞の見地から從話局なり郵便局から通話停止の發動を受ける前に一般加入者の力强き協力を要望してゐる

先生、敵機は、奉安殿は

空爆下に鮮血で護る安藤中學生

【福岡電話】十六日未明敵機は北九州に來襲、五市百萬市民は米鬼の空襲を體驗したが元寇襲來の先輩ある血を享けた九州人の眞價は見事に發揮され、敵を擊退散々の態に敵を各所に生み出した、B29の攻擊に下奉安殿を死守『敵機は退散しましたか敵機は』と最後まで任務を遂行して散った一中學生の物語りがある

八幡中學校四年生安藤寶君(一五)は學校防空隊員として奉安殿の警護に當るべき警戒警報發令と共に駈けつけ、學友と共に奉安殿を護つてゐたが空爆下に熱い血をもつて殉ぜられ、同校者一同をいたく感激させてゐる

國民學校地帶に○○個の爆彈が投下した、安藤君はそれにも怯まず依然として吹つ飛ぶ高射砲の破片の中にあって任務の位置を一歩も退かず、敢闘を續けたのだった、が遂に爆彈の破片を受けて倒れたのである

救護班が有余を移さず同君を救護所に運んだが胸部に大きな破片を受けてゐるので出血が激しく、手當の困難を與へせた、救護所の附近にも敵機の爆彈があり爆風で揺れる救護所の中で安藤君の呼吸が困難になった

〝先生まだ敵機は退散しませんかまだ敵機は〟といふ中學生の部隊にきりくと繃帶をかけた安藤君の作業だ(?)救護所の人達も皆泣いた、敵機投下はなほ熾いた、その内に安藤君は「先生、敵機はまだ退散しませんか、奉安殿は」と最後まで任務のことを口にしてゐた

自分は宿の者の指圖に從つて地下室の待避所に避難したが、その時自分は同宿の人達が少しも騒がず實に落着いた態度で避難してゐるのを見て感心した次第である、恐らくあの人達は必ず最初めての經驗だったらうが、全く見上げたものであり落着いた態度こそ日本人の姿で、自分は初めてそれを確認したわけだ

實に良くやった

褒める成父鋼廠氏

あの夜警戒警報が發令されると倅は篤脚絆を卷き、帽子の顎紐をきりりと締めて家を飛出して行きました最後までよくやってくれたと私は褒んでをります『寶よ、よくやってくれた』とあの兒の行爲を一家中で褒めてをります

この仇はきつと討つ

誓ふ全校生徒

最後まで任務を守って死んだ安藤君の崇高な責任感と學徒の本分を守ってくれた姿を學校で激勵して『よくやってくれた』と大いに褒めてやりたい、全校生徒はこの仇を必ず討つと復仇を固く誓ってをり、安藤君の後に續く決意を固めてゐる

消火に決死隊

半島同胞壮烈な殉職

【福岡電話】直擊下に北九州市民はよく戰った、半島出身者が特に多い地區だけに半島同胞の働きも亦目覺しいものがあった、その中でも壯烈な殉職を遂げた八幡市警防團第四分團員朴用文こと新井三龍君(三二)=慶尚南道泉郡出身=の働きは半島同胞の殉國心の發露さを示した半島愛國物語りとして人々の胸を打ってゐる

新井君は空襲警報發令と同時に分團に駆けつけ第六分團所に配屬されたが、十六日午前一時敵機來襲、一彈によって近くに火災が起つた、敵機の投彈はこの火災目掛けて集中され、直擊の爆彈が起る、早くこの火災を消さねば標識からの○○工場に被彈するやうなことがあってはならない、分團所から決死隊が猛火に飛び出した

この決死隊の眞ツ先駈ける新井君が身體を投げつけるやうにして火災の中に飛込む姿が見られた、その瞬間更に投下した一彈は新井君の身體を吹飛ばした、消火に敢闘中の分團防護團員有馬勇一氏と共に壯烈な殉職を遂げたのであった

防空第一課

孤田防衞顧問 16

不意打ちの訓練

◇…愛國班員に一週間交替の當番を定め、その一週間内は何時でも誰か當番を定め、當番の中で一人は必ず責任を持たせる、班員はこの當番の訓練には當番服從の義務がある、不意打をされる方は覺悟のところ、除りいゝ氣持はしないでも夕飯のあと、朝の掃除のあとどこかに近所の三、四名が集まり、當番がこゝに落ちたとかどうする、あの屋根に落ちたよ、あなたはどう處置をする、と話し合ひ實習する、これも立派な訓練である、時間もかゝらないし皆物も汚れないで徹底的に研究出來るわけである、たまにはかうした小人數の研究もあってよい

◇…次ぎは『話し合ひ訓練』—防空服、火吹き、水、砂、梯子…と防空小道具が揃はなければ訓練が出來ないと考へるのは間違ひである、愛國班を總動員しないと訓練にならぬ、時間を定めて訓練をするのは〝夜間不意打ち〟の準備過程にしか過ぎぬ、作戰に〝正攻〟と〝奇襲〟があると同様、訓練にも不意打ちを試みる必要がある、けふは[illegible]が、敵米英に不意を打たれるよりは愛國班の仲間に出し拔かれる方がましだらう、お互ひに枘子定規の訓練よりは興味と勵みを持つて臨み方が効果がある

大攻勢は增産から ⑮

逞しき男の命

眞夏に白熱と闘ふ

製鐵篇 (下)

【○○製鐵所にて田中特派員記】兵一人につき年十トンの鐵を要するといはれてゐるが、まこと鐵こそは勝ち拔く勝利への源泉であり、强靭な戰力と化す、それの生産力は直接戰力に重大な影響をもたらすのだ、鋼鐵と思へる生鐵構造にも一鐵のたりとも時もおろそかにしてはゐられない、戰局すでに熾烈するのとき、もはや資材難、勞務者不足を抑ってはゐられないのだ、增産至上命令のもと〝鐵を生み出すことは勝つことなのだ〟の合言葉と共に全從業員は今こそ擧げて製鐵の至誠に立てる熱鐵の搏擊と化し、勝利の搏擊に逞しい男の生命をぶち當てゝゐる

鑛石から熔鑛へ、そして製品化される灼熱の鐵汁は熔鑛爐からの一貫作業で增産へ大きく時を刻んでゐる、朝方鎔鑛爐から押し出された熱鐵が夕には立派に軌條となり、輪臂となり鋼板となって米英擊滅に役立ってゆくのだ、同トンといふ巨大な機械が原料な火の塊のまゝ機械で鍛延工場へ運び込まれると數分の後には頑丈の火箭を亂らしながら、さながら飴のやうにへし曲げられ紙のやうに薄く延べられ、みるまに製品化されてゆく此鍛さは冒すべくもない

合有量三〇%未滿の鐵鑛石もこゝで再熔作業を經過すると品位もあがり立派な鑛石としてお役に立つのである、コークスにしても同様で段々少し減らしたといった向はあるが、第一線の工員達は一刻でも早く前線の手に渡すべく奮鬪を續けてゐる、增産へ資材の確保は製鐵所の人達が

〔少しでも〕

良い鋼を生み出すためには品位の良い鑛石と良質のコークスが必要だが、今時そんなことはいつてをられない

異口同音に叫ぶ言葉であり無言の熔鐵爐が發するこの烈風習の鳳のなかで切實に訴へる眞實の聲でもあった

〝熔鑛は鹽水を飲んで作業を續ける〟汗の發散が激しく血液の成分が稀化して生命に危險があります〟といはれる通り、製鐵所の作業はどこへ行っても白熱の熱氣がまづ擊る所はない、激しい職場にありがちな事故もこゝでは主に過勞が多く、疲勞の累積と勞力の關連は逞だしい疲勞を求ねてゐるがその中で、ビタミン劑の給與や鹽分の補給のみでは仲々同得出來ない疲勞に今夏から鹽水に代って調味給食が行はれるといふ、これは

〔重湯に〕

近いものを收ねた一人當り一日の米に豚八グラムを水の中で煮沸し約といふよりの激しい午後の三時ごろ、高熱作業にたづさはる全工員に支給しようといふので、その成果は今から注目されてゐる、增産は單に掛け聲や命令だけでは行かない

勞働者の勤勞管理が製鐵戰士の心の中に浸透して始めて增産が達成されるのである、廿年、卅年の熟練者の修養と研究を強化した、此年男子の姿が製鐵所にも、同じく工員の自宅を通り生活管理を强化するためにもこの工場にも、反面際立つ珍らしくないこの工場にも、反面際ひをはっきりと認識して働く工員も文多い

工員をたゞ激然と働かせてゐるだけでは增産にはなりません、製鐵を自己の職場をはつきり認識するとき初めて增産の效果があがります

と同製鐵所勞務課長は語る

〔戰爭出〕

來ないといった觀念は團結も缺けせない人々から國民皆勞に從事しての仕事の報道の勞働奉仕にでも、整備部の對策の歡迎のもとに

その製鐵所は曾て製鐵○○萬トン、鋼塊○○萬トン、鋼板その他○○萬トンと數ぐる四月一日から火蓋を切った新年度增產激戰の目標達成に製鐵所幹部の工員達は實に目ざましいものがあった、本年九十三%の出勤率

出勤率は鐵の鋼から計算され、同時に勞務課長は『増産を持續する日は直ちに「三日間」に多數の戰時能率が爆擊の無料の熱率を投入し』『增勤の米』(?) と語って

かくして毎日廿四時間の職場體驗は一年三百六十五日晝夜の別なく間斷なく繰り返へされてゆくのである、製鐵所の最高幹部は職場職場の司令官であり、各職場毎に部隊、大隊、中隊組織をとり勤作に厳格な規律をとる軍隊的規律は全從業員に知らず知らずの内に前線に近い自覺を與へ、少年工の手配なども『自分達の仕事は前線の兵に合ってゐるだらうか』といつた真劍な考へを抱かせてゐる

〔非常生〕

産と時間を活用して來るやうな人材を作ることに力を注ぎ、いかに製鐵業を通して知識人が職業的にまで高められるかといふことを將來の製鐵職員として育てゝゐる

かくして一年間の教育が訓練として報いられてゐる、「青少年の氣持を體驗してからの上の職場」を發奮される成果は…敵機の出現に際して一二の工員が勞働の手を掛けつけ、血をしたゝる傷を抱へて養成所員の所へ驅け込み、一年間の教育が無駄になりましたと泣いて訴ひたといふ、幸ひに腕は指一本は切斷したが作業には差しつかへなく現在も元氣に就業してゐる

「非常生」…

〔若い工〕

員はいさゝか把握しがたい、工員は敵機空襲の訓練にはいさゝか

こゝに工員達の心をぐつとつかみ入れるやうになった、そして朝晩の職場點呼は工員達の心をぐつと引きしめて行ったのである、すべての行動の根據が勝つためといふ明白な一點に要約され、この一目標に向って一擧手一投足が集中され、こゝに工場員全體の緊密な結付が出來た

その仕事ぶりも第一線將兵に劣らぬ熱意を示してゐるが、一本の釘や一枚の鋼板が大東亞戰爭との直接的なつながりに對し心掛けてゐることは、勞働の本質を見きはめたものである

神經係の鑛であった奴、重役千七百度の熔爐に抗し熔鑛のしぶきをあげて搏鬪に敢鬪する工員達は凶悪戰士と迄へられ、鍛造第一線の戰士と甘い安樂な言葉を通かされるより、彼らの作る鋼が戰局全體に對しどんなつながりを持つかを知りたがってゐる、この認識を與へることが生産增强の本筋であり根本策でなければならぬ、どの職場を廻ってみても學人の話を合服と職場福祉の偉大さにみたれにはとても手の出せぬ福利施設だ、記者は一夜を工員の宿舍に明かしたが、すべてが軍隊式に行はれてゐること、宿舍は清潔であり食事は榮養的に十分であること、衛生施設も完全にとゝのひ職場から勞働へ突進してゐることを紹介したい【寫眞＝一日の勤務を終へて家路に向ふ製鐵戰士＝鐵[illegible]】

奉仕する早乙女

朝鮮神宮神田御田植祭

增產一路の決戰下に相應しい朝鮮神宮神田御田植祭は十八日午後二時から京城鐵道局長代理、[illegible]農務局長、瀬戸京畿道知事、林朝鮮總督府[illegible]ら關係方面代表の多數參列して執行、神田御田植は本年初めての試みで、京城女子師範生徒奉仕による早乙女廿名及び京師、京農男生徒の若者四十名は古式に則る揃ひの田植衣裝、早乙女は緋の襷に菅笠姿も鮮やかに參列

修祓祭神の後、雅樂奏上のうちに獻饌の儀、額賀宮司祝詞あって御神前の苗は宮司から野村京畿農務部長に手渡された

御田植の儀は齋耕牛、早乙女全員神田に降り立ち雅樂奏上のうちに『早苗おくてのこる方なくうゑはて、じつは田中の神まつるらん』と明治天皇御製を奉唱しつゝみやびやかな手振りも面白く男女舞踊隊は、畦を舞ひつゝ進行する中を奉耕隊は廿分間に亘る植付を奉仕、終って玉串は宮司、奉仕者ならびに參列者を代表して瀬戸知事奉奠して同四時御田植祭の行事を終へた

俵孫一氏

元商工大臣俵孫一氏は十七日自宅で逝去した享年七十六、告別式は廿一

現株仲値 (十八日十一時頃)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
◆銀行株 朝銀	[illegible]	朝新	[illegible]	米倉	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

證券市場 (十八日)

保合

新規材料待ちに積極的な買物は未だ見當らず、鐘紡株に低調保合を示した、但し株價の底はいよいよ堅調であり、目先見惜みな材料さへあれば買氣は誘發されよう

三國石炭新株上場

朝證では三國石炭工業新株を廿日より實物及び賣買市場に上場、取引を開始するが、これと同時に朝鮮殖銀は賣物指定銘柄から除外する一方三國石炭工業新株を長期清算市場に上場、新株は一部ザラバ取引、新株は一部に繰入、七月一日新前場會の九月限より賣買を開始する

◆朝證長期取引 (前場)

銘柄	寄	高	安	引
高周波	六六・八	六六・八	六六・八	六六・八
朝工新當	—	—	—	—

◆朝證實物賣買 (前場)

銘柄	寄	引
小林新	—	—

放送 19日

第一 朝 ▲七・〇〇 語『おもひやり』山田耕筰、演奏▲七・〇〇(慰)『一年生の時間』ハタラクイサムサン、六石進平

晝 ▲〇・二〇浪花節、落語曲▲一・三〇放送所の時間、箏の獨奏(二)宮城道雄、合唱、むらさき會

夜 ▲六・〇〇少國民の時間シンデン『一本の麥の想』札幌より▲六・三〇謠曲▲六・四五國民合唱『僕は空へ君は海へ』髙井龍明▲七・〇〇(慰)內地派遣より歸りて(二)渡邊喜日子▲七・四〇軍歌と吹奏樂、海軍軍樂隊、琵琶天、竹本大隅大夫外

第二 夜 ▲六・五〇吹奏樂、世紀の田の單取明外 若人外▲七・七〇『生活は明朗な道に』鶴山殿『山田長政の遺言』松岡貞治▲八・〇〇國民合唱(錄音)『僕は空へ・君は海へ』講談(慰)軍要野菜の作り方(甘藷と甘藷)佐野美好▲九・〇〇演藝『天一言』▲九・〇〇初步國語講座

本社寄託獻金

=十七日扱=

國防獻金 【陸軍】▲一千圓鐘路區校新町二〇六京城鐵組合▲金一封中區南山町一ノ一六朝倉貞治

【海軍】▲一千圓鐘路區校洞町二〇六京城鐵鋼組合▲金一封中區南山町一ノ一六朝倉貞治

恤兵金 【陸軍】▲百圓中區元町一ノ一八二寺澤豊太郎

飛行機獻納基金 ▲三百圓中區吉野町一ノ三六八澤生男

◇日計=三千九百圓

累計 【國防獻金】百廿五萬四千三百十圓五錢【恤兵金】廿七萬三千四百六十二錢【飛行機獻納基金】十一萬七千九百七十一圓四十二錢

日曹龍西本願寺で執行される氏は福岡縣の出身、明治廿八年東大法科卒、三重、宮城各縣知事、北海道長官、鐵道、內務各政務次官、商工大臣を經て昭和二年退官、次に衆議院議員に當選すること六回、政界に重きをなした(東京電話)

室內で栽培の出來る藥草

新發見 公定價格僅か一斤で 八十五圓の藥草

藥草栽培者募集 土も、水も、肥料も使はず、綺麗な室內で栽培の期間も僅かに二ケ月八寸一坪から三四百圓の收入ある藥草。採收品は政府指定の統制會社へ賣却、絕對安心。農家其他の副業にも最有利。ハガキで申込めば栽培案內說明書を送呈

京都市林山寺前通り 京都藥園藥草園

日本ニュース 第二一一號

(內容)

一、威武燦然たり 洛陽攻略戰

一、北佛に第二戰線 敵軍侵入す

社團法人日本映畫社

內科・小兒科・婦人科

京城府中區本町四丁目七五

北島医院

電話本局②三七四番

債權申出公告

當會社は昭和拾九年四月拾參日株主總會の決議に依り解散致候に付當會社に對し債權を有せらるゝ方は來る八月拾日迄に其の債權の御申出相成度若し右期日迄に御申出無之時は淸算より除斥可致候法の規定に依り此段公告候也

昭和拾九年六月十日

仁川府朝鮮町九〇番地

株式會社 仁川祭

代表淸算人 李門明浩

淸算人 藤原正審

京城婦人病院

產婦人科・レントゲン科・ホルモン科

院長醫學博士 松本泰治

副院長 工藤武城

京城府東大門町四 電②〇四八

債權申出公告

當財團ハ昭和十九年五月二十日評議員會ノ決議ニ因リ解散致候ニ付當財團ニ對シ債權ヲ有セラルヽ方ハ來ル八月二十日迄ニ其ノ債權ヲ申出ラレタシ右期日迄ニ御申出無之トキハ淸算ヨリ除斥可致民法ノ規定ニ依リ此段公告候也

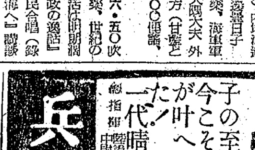
昭和十九年六月十日

京城府中區南大門通一丁目四番地ノ壹 朝鮮殖產銀行內

財團法人 朝鮮殖產助成財團

淸算人 倉田俊夫

明後日に迫った!



子の至純!親の至誠!今こそ三十年の念願が叶へらるる時が來た!人生は今!男一代晴の幕が上る!

總指揮 中田晴康 脚本 西龜元貞 演出 方漢駿

朝鮮軍報道部作品

兵隊さん

增產に農藥

▼種子と土壤の消毒に

▼三共のメルクロン

京城府中區旭町一丁目二七

代理店 昭和農業株式會社

電話本局五八一番

◆說明書進呈

父目良忠多儀病氣療養中の處六月十八日午前二時死亡致候間生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候

追て告別式は來る二十日午後四時より自宅に於て佛式に依り執行可致候

昭和十九年六月十八日

京城府龍山區三阪通一九一

男 目良忠正

妻 目良子

親戚總代 目良勝一、目良卯市、松園俊太郎、折田禎市

友人總代 伊藤壽一

當社代表取締役目良忠多儀病氣療養中の處六月十八日午前二時死亡致候間此段謹告仕候

昭和十九年六月十八日

京城府龍山區大島町一

朝鮮硝子工業株式會社

當社監査役目良忠多儀病氣療養中の處六月十八日午前二時死亡致候間此段謹告仕候

昭和十九年六月十八日

京城府龍山區岡崎町七番地

京仁合同飲料株式會社

若草劇場 十七日より五日間 若草歌劇團 朝鮮軍報道部製作 兵隊さん 映畫 ベンガルの月

城南劇場 十七日より二十一日まで 日本ニュース 文化映畫 雛の母 映畫

京劇 日本ニュース 今ぞ征かむ 國際密輸團

京日文化 十五日—二十一日 船つて來た學校 佐渡のめぐり 科學の朗らかに 日本ニュース

東洋劇場 六月十九日より五日間 林仙圭作 花咲く樹 三幕

光武劇場 十九日—二十二日 大陸新戰 決戰漫畫大會 日本ニュース

新富座 十九日より二十三日まで 海軍 日本ニュース

大陸劇場 六月十五日—廿一日迄 日本ニュース 今ぞ征かむ 國際密輸團

永寶劇場 十九日より二十三日まで 日本ニュース 富士に誓ふ

優美館 十七日より二十一日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を擊て

喜樂館 十七日—廿一日 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を擊て

桃花劇場 十九日より二十三日まで 海軍 日本ニュース

浪花館 十七日より二十一日まで 日本ニュース 爆風と彈片 雛の母

朝日座 十六日より四日間 女流浪曲の饗宴 雲井式部

中央劇場 十五日より廿一日まで 日本ニュース 今ぞ征かむ 國際密輸團

城寶 十五日より廿一日まで 日本ニュース 今ぞ征かむ 國際密輸團

明治座 十五日より廿一日まで 日本ニュース 今ぞ征かむ 國際密輸團

第一劇場 半島歌劇團大公演